

# 平成 28 年度 社会福祉法人三恵会事業報告書

## 1. 事業概要

特別養護老人ホームを中核とし、ショートステイ、デイサービス、在宅介護支援センター、ホームヘルプサービス、居宅介護支援事業所、養護老人ホーム等の社会福祉事業を行い、お年寄りの介護を通して、地域の方々の生活を援助しています。

## 2. 理事会及び評議員会

第 1 回 平成 28 年 5 月 22 日(日) ひかわ会議室

1. 平成 27 年度事業報告
2. 平成 27 年度収支決算審議及び監査報告
3. 社会福祉法人法改正について
4. 新規事業について
5. ひかわの非常用発電設備の納入業者選定について
6. その他 (参加者 評議員 10 名、理事 5 名、監事 1 名、事務局 4 名)

第 2 回 平成 28 年 12 月 4 日 (日) ひかわ会議室

1. 平成 28 年度上半期事業報告
2. 平成 28 年度一次補正予算案について
3. ひかわの非常発電設備の進捗状況について
4. 新規事業の進捗状況について
5. その他 (参加者 評議員 13 名、理事 5 名、監事 1 名、事務局 2 名)

第 3 回 平成 29 年 1 月 22 日 (日) ひかわ会議室

1. 定款変更について
2. 定款細則について
3. 評議員選任・解任委員会運営細則について
4. 新役員候補者の選定について
5. 評議員候補者の推薦について
6. 役員等の報酬に関する規定について
7. その他 (参加者 評議員 11 名、理事 5 名、監事 2 名、事務局 2 名)

第 4 回 平成 29 年 3 月 1 日(水) ひかわ会議室

1. 新評議員候補者の推薦について (参加者 理事 4 名、事務局 2 名)

第 5 回 平成 29 年 3 月 26 日 (日) ひかわ会議室

1. 平成 28 年度第二次補正予算について
2. 平成 29 年度事業計画と収支予算について
3. 就業規則、給与規定の変更について
4. さいたま市監査指導課、その他の立ち入り検査結果報告について
5. その他 (参加者 評議員 10 名、理事 4 名、監事 2 名、事務局 2 名)

### 3. 監査会

平成 28 年 5 月 20 日(金) ひかわ会議室に於いて

1. 平成 27 年度収支決算の監査 (参加者 監事 2 名、事務局 3 名)

### 4. 評議員選任・解任委員会

平成 29 年 3 月 9 日 (木) ひかわ会議室に於いて

1. 推薦された評議員 7 名の承認  
(参加者 委員 4 名、理事 1 名、評議員 1 名)

### 5. 目標に対する自己評価

基本目標 1	高齢で普通の生活が出来なくなった人達に対して「あたりまえの生活が出来るように支援していく」と云う法人理念に則り、お年寄りとそのご家族を支援していく。
重点課題	関係者とのコミュニケーションを深め、相互理解と共通目標の確認をする。
評価	一部の処でコミュニケーション不足は有りましたが、それ以外の処は満足して頂けたと思う。

基本目標	前年目標の継続。ひかわの災害時の非常電源の設置を今年度を実施する。
重点課題	補助金制度の確認と申請書類の作成をする。
評価	ひかわに設置した「災害時非常電源装置」と三恵苑の「特浴槽」の入替は計画通りに出来た。

基本目標	前年目標の継続。富士見園の建てかえプランの見直しをする。
重点課題	開発申請の確認。特養併設と建設費の研究。
評価	目標していた確認、研究は次年度に継続となった。

## 特別養護老人ホーム三恵苑事業報告

### 1. 事業概要

人生の最後を悔いなく、楽しく送って頂けるように。

そして『あたり前な生活が出来るように』特養入居者 60 名と短期利用者 20 名のお年寄りの生活を支援しています。

### 2. 月間利用者延人数

(特養・短期合計)

27 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
	2,327	2,340	2,288	2,355	2,383	2,353	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	2,390	2,377	2,454	2,449	2,396	2,395	27,431
28 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
	2,304	2,430	2,333	2,357	2,399	2,286	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	2,410	2,239	2,295	2,352	2,139	2,416	27,960

### 3. 退所の状況

性別	年齢	介護度		性別	年齢	介護度	
女	88	5	苑にて看取り	女	95	5	苑にて看取り
女	87	5	病院にて逝去	女	94	4	病院にて逝去
女	93	4	苑にて看取り	男	67	5	病院にて逝去
女	93	4	苑にて看取り	女	81	3	苑にて看取り
女	77	4	苑にて逝去	女	84	5	苑にて看取り
男	69	4	病院にて逝去				
女	83	4	苑にて看取り	退所者平均年齢 85.1 歳			
女	95	4	苑にて看取り	看取り 昨年度 14 名 今年度 8 名			

### 4. 入居者の年齢構成

(3 月末日現在)

	～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	平均	最高齢
男	0	4	7	2	2	3	0	0	80.5	94
女	0	4	5	3	13	11	5	1	86.8	100
計	0	8	12	5	15	14	5	1	84.9	100

### 5. 入居者の介護度別人数

(3 月末日現在)

介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	平均介護度
27 年	2	5	15	22	16	3.75
28 年	2	4	14	21	19	3.85

## 6. 事業所で行ったこと

4月	お花見の会	10月	バスハイク
5月	端午の節句	11月	焼き芋会、外注食会
6月	運動会、外注食会	12月	クリスマス会、餅つき
7月	納涼祭	1月	新年の集い
8月	七夕の会、入居者健康診断	2月	節分の会
9月	敬老会	3月	ひな祭りの会

- その他毎月、ホーム喫茶、手作りおやつ、クラブ活動(書道クラブ、民謡クラブ、クレヨンクラブ、お花クラブ、ハンドベルクラブ)お誕生日企画を行いました。

## 7. 職員の状況 (特別養護老人ホーム、短期入所事業所の合計)

職名	人数		兼務の状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
施設長	1			男	社会福祉主事
事務員	1			女	衛生管理者、ヘルパー2
事務員		1		女	社会福祉主事
相談員	1		○	男	介護支援専門員、介護福祉士
ケアマネ	1		○	男	介護支援専門員、社会福祉士
主任	1			男	介護福祉士
主任	1			女	介護福祉士
リーダー	2			女	介護福祉士
介護職	6	3		女	介護福祉士
介護職	8			男	介護福祉士
介護職	1			男	介護職員初任者研修
介護職		4		女	介護職員初任者研修
介護職	1			男	
介護職	2	1		女	
看護師	1			女	正看護師
看護師	1	1		女	准看護師
看護師	2			女	派遣職員(正看護師)
栄養士	1			女	管理栄養士
介助員		2		男	
介助員		1		女	
洗濯		3		女	
宿直員		3		男	
合計	31	19	介護職員:入居者数 = 1 : 2.5		

## 8. 各委員会

職員による各種委員会活動があります

- ・安全対策委員会
- ・ケア向上委員会
- ・身体拘束委員会
- ・褥瘡対策委員会
- ・マニュアル委員会
- ・衛生管理委員会
- ・感染症対策委員会

## 9. 目標に対する自己評価

特養 基本目標 1	個別ケアを実行し、一日一日が充実でき、笑顔で有意義な生活を送って頂けるよう支援する
重点課題	① 入居者個々の課題に応じた介護を実施していきます。 ② 心をこめて対応をする事で、入居様が自然と笑顔になり、充実した生活が送れるよう努めていきます。
評価	①リフトの使用が定着し移乗方法の幅が広がり個々の状態に合わせた対応が出来てきた。又、職員の腰痛予防にも効果があった。食事もそれぞれに合った自助具を選択し、自力摂取が継続できるように心掛けることが出来てきた。しかし、排せつ介助を端から順番に行う事や、トイレや入浴の順番待ちなど、時間に追われる流れ作業的な業務の見直しは困難であるが継続して少しでも改善できるようにしていきたいと思う。 ②月1回の行事、レクリエーション、ホーム喫茶や、毎週のクラブ活動で所属の欲求を満たし、職員からの声かけや、傾聴で孤独感が少なくなるように心掛ける事が出来ていた。
特養 基本目標 2	①入居者との関わりを多く持つ
重点課題	コミュニケーションを多く持つ事でお互いをよく知り、信頼関係を構築できるよう努めていきます。
評価	流れ作業的な業務の中でも、職員は介助の時間を利用し声かけを多く行い会話ができるように努めていた。
医務室	① 入居者の出入り変化が多い為、異常の早期発見対応が出来るようにする。看取り対応での充実。 ② 職員の健康管理につとめる。
重点課題	① 状態把握に努め、入居者一人一人に対し、職員全体が共通認識を持てるよう、情報伝達に努める。又、本人、家族の希望に添える看取りが行なえる様に普段から情報収集に努める。 ② 職員一人一人に声をかけ変化の把握に努める。
評価	① 入居者の状態について、情報を全て集められることが難しい例も多くあり、来苑後状態を確認しながら対応し職員に伝達した。看取りは家族との連絡を密にし、年々良くなっていると思う。 ② 職員も健診後に気にする様子があったが、その後は訴えがあれば対応することが多くなっている。

<p>厨房 基本目標</p>	<p>全ての入居者に喜んでいただけるよう、それぞれの方に合わせた食事サービスを行います。</p>
<p>重点課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 入居者のご希望を献立に反映します。見た目で食欲が湧くように盛り付けに配慮していきます。</li> <li>② 安全な食事提供が出来るように衛生管理の知識向上を目指します。</li> <li>③ 他職種と協働し、栄養状態と機能の向上に努めます。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 入居者からリクエストが数件あり、献立に取り入れた。今後も継続していく。盛り付けは、特にきざみや超刻みの形態のお食事も見目良く盛り付けを行った。</li> <li>② 国内での食中毒等の事故に関して、原因と対策を審議し、普段の作業に反映した。</li> <li>③ 看護職、介護職と協働し、食事の見直しを行っていくことができた。</li> </ul>

## 養護老人ホーム富士見園事業報告

### 1. 富士見園基本方針

- 1 入居者の皆さんの自立と個人の尊重を重んじ、生きがいを持ち、安心して楽しい生活が出来るように支援します。
- 2 職場の将来展望において、職員全員が共通意識のもと、意識改革と自己研鑽を積み、働く喜びを共に感じられる職場にします。
- 3 一施設としての事業展開にととまらず、広く地域の福祉推進者としての視点を常に持ち行動します。

### 2. 入居者の状況

#### 1) 実施機関別在園者数

H29.4.1 現在

機関 性別	大宮区	西区	北区	見沼区	中央区	桜区	浦和区	南区	緑区	岩槻区	熊谷市	蓮田市	富士見市	志木市	合計
男	10	6	13	7	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	40
女	5	13	8	12	2	1	2	0	0	0	1	0	1	0	45
計	15	19	21	19	3	1	3	0	0	1	1	0	2	0	85

#### 2) 年齢別在園者数

各年度末調べ

年度 年齢	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女
65 歳以下	0	1	0	0	1	0	1	0
65～70	2	4	2	4	2	2	2	3
71～75	10	5	7	6	8	5	9	4
76～80	11	7	11	9	11	9	9	11
81～85	16	13	14	9	5	13	12	8
86～90	3	9	3	10	15	10	6	13
91～99	1	7	1	10	1	6	1	6
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0
計	43	46	38	48	43	45	40	45
総計	89名		86名		88名		85名	

※平均年齢 男 79.9歳 女 82.6歳 平均 81.3歳 最高年齢 男 94歳 女 98歳

## 3) 月別入・退所者状況

H28 年度分

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計		
在籍	87	85	84	85	85	84	85	84	84	83	85	85			
園入	男	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	3	9
	女	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3	0	6	
所退	男	0	1	0	1	0	1	2	0	0	0	1	0	6	12
	女	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	6	

## 4) 退所事由別

H28 年度分

年齢 性別	死 亡	施設替え (特定施設等)	入 院 (措置切れ)	家庭復帰	計
男	3	1	2	0	6
女	4	2	0	0	6
計	7	3	2	0	12

## 5) 入園前の居所別

H29.3 末現在

居所 性別	家 庭						小計	病院 老健	施設 (救護) (厚生) (身障)	その他	計
	配偶 者	子 供	兄 弟 姉 妹	其 他 の 親 族	一 人 暮 ら し	其 他 雇 主 等					
男	1	4	1	1	23	1	31	2	1	6	40
女	0	8	3	3	29	0	43	2	0	0	45
計	1	12	4	4	52	1	74	4	1	6	85

## 6) 在園期間別

H29.3 末現在 平均在籍年数 6.3 年

居所 性別	1 年 未 満	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6~9	10~ 14	15~ 19	20 年 以 上	計
男	3	6	4	3	6	2	11	4	0	1	40
女	6	4	4	3	0	1	10	14	3	0	45
計	9	10	8	6	6	3	21	18	3	1	85

## 7) 介護保険認定状況

H29.4.1 現在

区分	要支援 I	要支援 II	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	合計
男	2	1	7	3	3	1	0	17
女	0	3	7	8	3	2	0	23
計	2	4	14	11	6	3	0	40



### 3. 目標に対する自己評価

基本目標	施設整備計画の立案と計画的な維持管理を実行します。
重点課題	①利用者が安全且つ快適に生活できる施設環境を提供するために計画的な施設整備と維持管理の徹底を積極的に実施していきます。 ②利用者個々のニーズや状態に合わせた居室整備を行い、より良い生活環境を提供していきます。
評価	施設全体に老朽化が進み様々な不具合が生じたが、利用者への日常生活に不便や迷惑を掛けることなく対応が出来たと思う。
基本目標	自立した生活が維持・継続できるよう最大限の支援を行います。
重点課題	①個別支援計画に基づく生活・介護支援を的確に実施します。 ②利用者個々の状態やニーズに柔軟に対応し自立した生活が維持・継続出来るよう支援します。
評価	特定利用者への支援が年々増加し、個別のニーズも高まっている中、業務内容や提供時間等の調整を行的確なサービス提供が行われた。
基本目標	全職員の研修会参加を計画し、職員のスキルアップを図ります。
重点課題	① 年間研修計画に基づき全職員の研修会等への参加を実施し職員の専門的知識・技術の習得、資質の向上に努めます。 ② 各職員の「チャレンジプラン」での能力開発目標に基づき、職員の資格取得やスキルアップのための研修会・講習会への参加を推進します。
評価	年間研修計画に基づき全職員の研修会等への参加を実施した。又、当施設を会場にして養護分科会研修会を実施、貴重な研修となった。
基本目標	防災体制・感染予防対策の整備強化を実施します。
重点課題	①あらゆる災害に対応できるよう防災対策の整備と強化を図ります ③ 害時に必要な給食給水及び資機材配備の整備を行います。 ④ 急時の対応が迅速・的確に実施出来るための訓練・講習会を実施します。 ④感染予防対策の強化と見直しを行います。
評価	三恵会自主防災組織防災計画にさいたま市洪水ハザードマップ(浸水想定区域図)を導入した。3月に発生したインフルエンザB型の集団感染(利用者・職員計 36 名)について改めて集団感染の脅威を体験した。この経験を今後の対策に生かせるように検証し対応していきたい。
基本目標	地域に密着した福祉拠点を目指していきます。
重点課題	① 地域福祉の拠点として施設の役割・機能を最大限発揮していきます。 ② 地域との交流を積極的図り地域との連携と協力体制をより深めていきます ③ 介護体験や社会化体験などを目的とした研修生、実習生を積極的に受け入れていきます。又、ボランティア等の活動についても内容・目的など調整し受け入れしていきます。
評価	行事等で地域の方を招き多くの方と交流が出来た。 西区健幸フェスタにて運動教室を開催し好評を得た。

## 2) セクション別 目標に対する自己評価

養護 基本目標	ADL の低下を防ぎ、園で安心して楽しく生活出来る様、自立に向けて支援していく。
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい入所者の ADL・IADL 低下、認知機能の低下が顕著に現れているので、状態を把握し各セクションと連携をとり、個々にあった対応をしていく。</li> <li>・些細な事でも、今行える事はこれからも継続して行えるように支援していく。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28 年度は 27 名の方がショートステイを利用され、9 名の方が入所となった。</li> <li>・養護の方達も今まで普通に行えていた事が、徐々にできなくなってきており、支援する事が多くなってきた。その都度、検討し対応する事が出来たと思う。次年度も継続していく。</li> <li>・インフルエンザの集団感染が発生してしまった。今回の反省を踏まえ、利用者だけではなく職員も体調管理には十分注意していく。</li> </ul>
特定 基本目標	安心し落ち着いて過ごしていただけるプランの作成
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の生活の中で、それぞれの出来る事が維持できている</li> <li>・信頼関係の維持</li> <li>・報告、連絡、相談の徹底</li> </ul>
評価	ADL/IADL の変化が少なく、日常生活を維持されている方も居られたが、8 名の方が加齢や体調不良などから園生活が維持できずに退所された。出来ることが少なくなって来てはいるものの、皆さん落ち着いて過ごされている。
訪問 基本目標	笑顔のある生活、言葉で「しあわせ」と言える環境作りをお手伝いします。
重点課題	・隣人同士の会話が少なく・又興味もない生活を送られている方が多く、出来る限り会話が増えていくよう機会を増やす。(野草茶屋への誘い。)
評価	野草茶屋への誘いはできたものの、隣人同士の会話が少なかった様に思われる。しかし職員の声掛けや誘いで手作業や歌など積極的に意欲的に参加し楽しめる。インフルエンザ・体調不良者 12 名(そのうち 2 名入院)と大勢の方が発症されたが 11 日間と言う期間にもかかわらず平静を保ち穏やかに過ごして頂いた。
医務室 基本目標	体力・抵抗力の維持、増進
重点課題	手洗い・含漱・マスク着用の励行、ラジオ体操・ゲーム・ウエルネスの積極的参加を促す。
評価	インフルエンザ罹患者 26 人という集団感染が発生。手洗いに関しては、平素はおざなり、食前の手指消毒に関しても両手掌をすり合わせていないなど、不備が目立ちその都度指摘。また、ラジオ体操やウエルネス等は参加者が決まってきた状態であった。
厨房 基本目標	衛生に考慮し、ひとりでも多くの在園者の皆様に喜ばれる食事作り
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品衛生知識の確立</li> <li>職員・同居家族の健康管理(報告の徹底)</li> </ul>

	薄味の食事作り
評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・食品衛生の知識については、昨年度に比べ重点的に取り組んだ成果もあり確実に知識量と認識力は増したように思う。</li><li>・健康管理については、二枚貝の摂取を控えるなど注意を呼びかけ実行した。感染症については報告を徹底出来た。1名新フルエンザに感染したが、厨房内に蔓延せずに各自健康管理に努める事が出来た。</li><li>・薄味の食事作りについては、今後も継続して行く。</li></ul>

## 特別養護老人ホームひかわ事業報告

### 1. 事業概要

- 1) 入居者、一人ひとりに合った援助を心がけ、ひかわでよかったと、入居者とその家族に思ってもらえるよう努力します
- 2) 施設の全体行事として、あおぞら市・納涼大会・敬老会を行なう

### 2. 月間利用者数 (特養、短期合計)

27年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	3,360	3,493	3,419	3,468	3,533	3,431	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	3,504	3,370	3,527	3,519	3,332	3,506	41,462
28年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	3,373	3,444	3,304	3,459	3,367	3,281	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	3,427	3,416	3,576	3,506	3,203	3,538	40,894

### 3. 退所の状況

退所者 29名 (昨年度 23名)

性別	年齢	介護度		性別	年齢	介護度	
女	79	5	三恵苑へ移動	男	86	4	看取り
女	100	4	看取り	女	94	4	看取り
女	93	5	看取り	女	99	4	看取り
男	90	2	死亡	女	85	4	看取り
女	87	3	他施設へ移動	女	99	5	看取り
女	98	5	看取り	男	72	5	病院
女	98	1	療養病院	女	96	3	他施設へ移動
女	90	2	看取り	男	84	2	看取り
男	92	4	死亡	女	96	4	病院
女	91	3	看取り	女	83	4	病院
男	92	4	病院にて死亡	女	83	3	病院
男	95	2	看取り	男	93	5	病院
男	91	3	病院にて死亡	男	90	3	病院
男	96	2	病院にて死亡	男	90	4	病院
女	85	4	病院にて死亡	退所者平均年齢歳 90.58歳(89.65)			
				看取り 昨年度 6名			今年度名 12名

### 4. 入居者の年齢構成

(3月末日現在)

	60~	65~	70~	75~	80~	85~	90~	95~	100~	平均	最高齢
	64	69	74	79	84	89	94	99	~		
男	0	0	3	0	6	4	8	2	0	86.7	95
女	0	0	2	5	11	21	24	18	1	89.4	100(3)
計	0	0	5	5	17	25	32	20	1	88.8	

### 5. 入居者の介護度別人数

(3月末日現在)

介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	人数計	平均介護度
27年	8	16	29	34	17	104	3.34
28年	8	10	27	36	20	101	3.49

### 6. 月別入・退所者状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計		
在籍	100	102	99	99	98	99	102	105	104	104	104	101			
入院者	5	4	6	6	8	6	3	3	4	4	3	2			
入所	男	1	1	0	1	0	1	3	1	1	1	0	2	12	2
	女	1	1	0	2	2	2	1	3	0	2	1	2	17	9
退所	男	1	0	0	3	1	0	1	0	1	0	1	5	13	2
	女	0	1	1	0	0	4	2	1	1	2	1	3	16	9

### 7. 職員の状況 (特別養護老人ホーム、短期入所事業所の合計)

職名	人数		兼務の状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
施設長	1		○	男	介護福祉士、社会福祉主事
事務長	1			女	社会福祉士、衛生管理者
事務員	1			女	簿記検定1級
相談員・ケアマネ	3		○	男	介護支援専門員、介護福祉士
相談員・ケアマネ	1		○	女	介護支援専門員、社会福祉士
ユニットリーダー	1			女	介護福祉士
ユニットリーダー	2			男	介護福祉士、介護支援専門員
ユニットリーダー	3			男	介護福祉士、ユニットリーダー研修
ユニットリーダー	6			男	介護福祉士
介護職	16	5		女	介護福祉士、介護支援専門員(1名)
介護職	8	0		男	介護福祉士
介護職	3	0		女	介護職員実務者研修
介護職	1	1		男	介護職員実務者研修
介護職	5	16		女	介護職員初任者研修
介護職	1	0		男	介護職員初任者研修
介護職	2	6		女	資格なし
介護職	1	0		男	資格なし
看護師	2	1		女	看護師
看護師	2	1		女	准看護師
栄養士	1			女	管理栄養士
介助員		3	○	男	宿直兼務(1名)
宿直員		2		男	
合計	61	35		介護職員 : 入居者数 1 : 1.84	

## 8. 目標に対する自己評価

<p>特養 基本方針</p>	<p>1. 当たり前の生活のために、入居者一人ひとりを知り、ユニットケアの実践を図る。</p> <p>2. 質の向上を図るために、職員が中心となり研修を実施し、ユニットに研修内容を浸透させる。</p> <p>3. 福祉施設として地域に根ざす。(前年度より継続)</p> <p>① 福祉施設の一部を開放し、地域活動に活用していただく。</p> <p>② 地域の方々も参加できるような行事を取り入れる。</p> <p>③ ボランティアの受け入れの整備。</p>
<p>評価</p>	<p>1. 本年度の課題であった 24 時間シートの作成は、概ね全員分揃ってきたが、新規の入居者の分が不足していたり更新が出来ていなかったりといったケースが見られた。また、本年度作成した24時間シートのベースをユニットケアの実践の為に今後は活用、発展させたい。</p> <p>ユニットの入居者の希望を基にしたユニット行事は明らかに増えてきており評価できる点と思われる。一つ一つの行事に目を向けても個性的な行事も増えてきたと感じられた。ユニットからは入居者の生活パターンを踏まえて職員の配置を工夫する案などの動きも出てきており今後も引き続き柔軟に対応していきたい。</p> <p>本年度、職員の接遇の乱れで入居者家族から指摘された事例があった。来年度も継続して接遇面での向上を目指す必要があると思われる。</p> <p>2. 基本方針の文字通り、職員が講師や参加者として中心となって研修を行う事が出来たと思う。しかし、すべてのユニットですべての研修に参加者を出せているかどうかや研修不参加の職員に向けたフォローがまだ不十分と考えられる。研修資料に必ず目を通すシステムを強化するなど、参加の可否にかかわらず職員一人一人に研修内容が浸透されるような工夫が今後必要と思われる。</p> <p>3. ①及び②は達成できていると思われる。③についてはボランティアを活用したユニットでのレクリエーションは増えているが、各階での実施に留まり実施状況を他の階に共有し回数を広げたりする所までには及ばない為今後も改善の余地あると思われる。また、レクリエーションボランティアだけではなく訪問販売などの視点を変えたボランティアの活用も検討する等の工夫も行っていきたい。</p>
<p>医務室 基本目標</p>	<p>1. 個別ケアの充実</p> <p>① 状態把握と変化の見極めに努める。</p> <p>② 生活を主体とした看護の充実に努める。</p> <p>2. 職員の健康管理・相談につとめる。</p> <p>介護職の精神面のサポートの充実に努める。</p>
<p>評価</p>	<p>1. ①状態把握は出来ていたものの、変化については若干の遅れがあったり、予期せぬことが起こったときの戸惑いがあった。</p> <p>②生活を重視しながらの見方が出来ていたと思う。</p> <p>2. 特に問題なく達成出来ているが声かけを多くしていくよう心掛ける。</p>
<p>厨房 基本目標</p>	<p>(食事サービス部門)</p> <p>1. ユニット毎での出張料理を行い、入居者の食への関心を高める。また、入居者の目の前で調理を行い、出来立てを食べて頂くことにより、家庭の雰囲気味わっ</p>

	<p>て戴けるよう努力する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 食材の調理法を工夫し、キザミ食の入居者でも、可能であれば形のまま提供できるよう努力する。</li> <li>3. 食中毒防止の為、厨房内の清掃の徹底と、職員の衛生教育及び健康管理に勤める。</li> <li>4. 入居者の嗜好を把握し、定期的な献立の見直しや新メニューを取り入れることにより、喫食量の向上と、献立のマンネリ化防止を目指す。</li> </ol> <p>(栄養管理部門)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者、一人ひとりの栄養状態及び嗜好の把握をする事により、喫食量の向上と健康面の安定を図る。又、好物の把握を終末栄養に活用していく。</li> <li>2. ユニットの特性を生かし、ユニット単位の料理・菓子作りの企画と協力。</li> <li>3. カンファレンス等により、他職種との連携を図り、栄養業務に生かしていく。</li> </ol>
<p>評価</p>	<p>(食事サービス部門)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユニット出張料理のたびに、喜んで頂けた。また、この機会に好物の把握もできた。来年度もメニューのバリエーションを増やし実施したい。</li> <li>2. 肉・魚に酵素を使い、食べやすい柔らかさでの提供に努めた。調理方法を更に工夫することで、形のまま提供できる料理が増えると思う。来年度も引き続き目標とし、より多くの食材を提供できるよう努める。</li> </ol> <p>(栄養管理部門)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新入居者の速やかな把握が難しかった。</li> <li>2. ユニット単位やフロア単位で、入居者の笑顔や喜びの声が聞こえる食作りが出来た。又ユニットからの企画も多く揚がってくるようになった。</li> <li>3. カンファレンス等で入居者個個人の食の意向が少しずつつかめてきた。今後食欲がないとき等に生かしていきたい。</li> </ol>
<p>A-1 ユニット 基本目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① より良い個別ケアができるよう入居者中心に考え、職員間での情報共有をもとに、一人ひとりが責任を持って介護を行う。</li> <li>② 入居者、職員が笑顔で居心地の良いユニット作り。</li> </ol>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者が過ごしやすいよう考え、より良い方法を行うことができた。笑顔もたくさんあり、とても明るいユニットになっていたと思う。その方の若き日の思い出話に耳を傾けると、自然に入居者の笑顔が出て、発見があった。</li> <li>・職員間での情報共有は不十分なところもあった。職員の異動に続き、入居者も変わり、変化が多く余裕がなかった。そのため、方向性が定まらなかったところもあった。</li> </ul>
<p>A-2 ユニット 基本目標</p>	<p>報連相と技術の向上。そのときに何が最適かを考え、実行できるユニット。</p>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題があってもよく情報交換し、話し合いができていたと思うが、報・連・相までは実行できていなかったと感じる。また、隣ユニットとの情報交換の面では、行き届かなかった。結果につなげるまで時間がかかったり、周知徹底まではいかなかった。</li> <li>・入居者との関わりに関してはまだまだ足りず、入居者にとっての居心地の良いユニットとまではいかなかった。</li> </ul>

A-3 ユニット 基本目標	入居者一人ひとりの気持ちに寄り添い、生きがいをもって生活を送っていただけるよう支援する。
評価	・入居者の行きたい場所へ行ったり、食べたい物を提供する等のレクリエーションを多く行えたことがあり、少しは入居者の気持ちに寄り添うことができた。反面、一人の方を優先させることで、また別の方の不満などが出てきてしまい、集団生活の難しさを改めて感じ、職員間の協力が必要と感じた。
A-4 ユニット 基本目標	入居者、職員共に笑顔が絶えず、豊かな生活ができるユニットにする。
評価	<p>・日々の業務の中で、入居者一人ひとりをしっかりと観ることができず、もっと観察を行い、過去、現在の希望等を汲み取る必要があると感じた。そのため、豊かな生活につなげることができなかつた。今後は、職員のキャパシティーを向上させ、多くの情報を汲み取り、入居者の生活に返すこと、そして、入居者、職員共に笑顔を絶やさない生活につなげていきたい。</p> <p>・イベント等を通じ、家族とのコミュニケーションを多くとることができた。今後も家族と多くコミュニケーションをとることで、入居者の生活につなげていければと思う。</p>
B-1 ユニット 基本目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.職員間の連携を密に取り、ミスのない細かなケアを行う。</li> <li>2.入居者としっかり向き合い、希望に沿った個別ケアを実施する。</li> <li>3.他職種と連携し、入居者の ADL の低下を防ぐ。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ショート部屋が 5 室となった為、情報量が増え、漏れのないように申し送りに気を使った。また、日々の入浴調整(1泊2日の方もいる為)が大変だった。ショート利用者の ADL 低下も目立ち、その為か、日常の見守り、排泄介助、食事対応等の変化に追われた。</li> <li>2. 入居者の ADL 低下も目立ち、体力が落ちた為、外出等も無理のないように行わざるを得なかった。また、手引き歩行が難しくなった方もおり、来年度の重要項目と思われる。</li> <li>3. 大きなミスはなかったが、新人職員が入職した為、申し送りノートを活用し、漏れのないように連携を取り、ミスを防いでいく事が重要と感じた。また夜勤者や隣のユニットへの勤務時の重大ミスを防ぐ為に、B1、B2 ユニット間の連絡を強化する事が重要と感じた。</li> </ol>
B-2 ユニット 基本目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.個別ケア、ケアプランに沿った支援をし、入居者の満足度を高めていく。</li> <li>2.入居者、個々の ADL に応じたレクリエーションを細目に行い、生活の活性化、意欲を高めていく。</li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個別ケア、ケアプランに沿った支援は出来ていた。</li> <li>2. ①ユニットレクは担当者を中心に行えており、塗り絵、体操、歌などのレクリエーションで、生活の活性化を高められたと思う。 ②個々の興味を探り、支援をしたが、全体的には、個々のレクリエーションの実施は少なかった。ボール遊び等も不評だった。フロア内の散歩は定期的におこなったが、質の向上が必要と感じた。</li> </ol>



B-3 ユニット 基本目標	四季を通じて充実したレクリエーションの提供と清潔感のある快適な環境で生活ができるよう支援する。
評価	・四季を通じて、レクリエーションは月々提供でき、内容も工夫し充実していた。清潔感のある快適な環境づくりに関しては、そこまで手が回らない現状もありできていない時が多くみられた。
B-4 ユニット 基本目標	<p>1. 当たり前の生活・暮らしの継続が出来る様に個別介護支援に取り組む。</p> <p>2. ①行事については、年間計画を作成し月一回以上の行事計画を行い、入居者の満足感をあげていく。②余暇活動については、集団的な余暇活動のプログラムを作成し実施記録が残せるように取り組む。</p> <p>3. ユニット会議の開催(年6回)について、ユニットケアとして質の向上につながる、有意義な会議を開催する。</p> <p>① 入居者に対しての新しい視点への関わり(ユニット職員)</p> <p>② 交代制で事前に議事録を作成する(ユニット職員)</p> <p>③ 会議で決まった内容(支援方法等)の確認作業を行い、ユニット会議での報告及び月1回以上ユニットにその後の経過や評価をする(ユニットリーダー)</p>
評価	<p>1. 入居者との関わりの中で声掛け、傾聴を意識しながら支援を行った。生活での離床、臥床に重点を置き、その方の状況、状態変化に気づく事ができ個別支援に繋がった。入居者との懇談会(ユニット企画)を行い、入居者の生活や職員の介護支援について話し合う事ができた。意識等の中でできる事、できない事があるが、意見が聴けた事で質の高い介護に近づけた。</p> <p>2. ①誕生者の計画、月1回以上の行事計画を行った事で、入居者の表情や笑顔が多くみられました。毎年の計画書を実施記録として残した結果、計画段階で振り返りを行い、+α への内容になり、少しではありますが満足度が高まりました。</p> <p>②上半期、下半期で評価を行ったが職員間の情報共有ができず新しい取り組みについては満足した結果に至らなかった。継続の点では、上半期(口腔体操・通常の体操)下半期(手体操・口腔体操・通常の体操)で取り組みが定着する事ができた。実施記録としては、記録が大切との意識付けを行った。介護日誌に(食べる・トイレに行く・臥床した等)簡潔な記録ではなく、その方の生活状況がわかる活動内容を記録する事を心掛けた。</p> <p>3. 年5回の会議を開催した。会議の中での決定事項や入居者の状況が日々変化する中で、その日に支援方法を決めて介護支援に繋げ、入居者の安全、安心な生活に取り組めた。毎月末に決定、取組事項の引き継ぎをパソコン内(PC への定着)や書面にて作成をし、ユニット職員に引継ぎを行い、確認作業として報告を行った。</p>
C-1 ユニット 基本目標	<p>入居者一人ひとりが充実した生活を送れるよう支援する。</p> <p>① 季節感を盛り込んだ行事を充実させる。</p> <p>② 業務内容に職員と入居者とが一緒になって参加できる内容を設ける。</p> <p>③ 入居者との関わりの中で希望やニーズの発見に努める。</p>

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 月に一度行事を行うことで、季節感があり良かった。</li> <li>② 入居者と一緒になって参加することができた。</li> <li>③ 入居者の希望や、ニーズの発見ができた。</li> </ul>
C-2ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 入居者個々が夢中になれる趣味を見つけて行きたい。</li> <li>② 入居者と良くコミュニケーションをとる事を通じて、個々にあった対応をしていきたい。</li> </ul>
評価	<p>目標を立てた年度初めは、各入居者が昔行っていた趣味把握の聞き取りを行い実施したが、全ての入居者に取り組んで頂く事は難しかった。また職員の意識も徐々に薄れると共に、趣味活動に付き添う時間的余裕が無くなってしまった。その中でも、個々の訴えに応じてコミュニケーションを図る対応は出来たと思われる。</p>
C-3ユニット 基本目標	<p>入居者一人、一人の意見、意思を尊重し笑顔で安心した生活を送れるユニットにし、外出や行事の機会を増やし楽しみをもって生活を送っていただく。</p>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の意思を尊重するように心がけたが、人手が足りない際、できてないことがあった。また、言葉遣いも乱れてしまうことがあった。</li> <li>・外出レクや行事を増やすように心がけたが、外出の際、限られた入居者しか外出できず、全体としての外出行事が少なかった。</li> </ul>
C-4ユニット 基本目標	<p>一人一人の個性を尊重した生活を送って頂き、尚且つ笑顔が絶えないよう職員の雑談力を磨いたり、入居者が楽しめるような毎日のレク及び行事レクに力を入れる。</p> <p><b>活気あるユニットにしよう！ 職員の笑顔も大切です！！</b></p>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が、日勤シフトに組まれてから、業務に余裕ができ、入居者と会話する時間、散歩と接する時間が増え、8割は達成できたと思う。ただし、毎日のレクが出来ず、体操のみの日が多くなってしまった。</li> <li>・入居者一人ひとりの尊重した生活は送って頂けたと思う。何気ない会話で笑いが起きたり、楽しんで頂けたと思う。レクも職員がそろっているときは、なるべくやろうと努力はできたと思うが、外出レクが少なかったと思う。</li> <li>・個人の尊重が、どこまでできたか、何とも言えないが、ある程度、訴えに応じた対応はできたと思う。今後、その尊重できるところを、できるだけ増やしていきたい。毎日のレクができない時があったので、改善しようと思う。</li> <li>・声掛けするよう心掛けたが、まだまだ足りていない。行事レクは、もう少し前もっての計画が立てられるようにしたかった。</li> <li>・個人的には、目標は、ほぼ達成できたと思われる。行事レクに関しては、担当の思惑通りに運ばなかったことが多く、来年度は改善したい。</li> </ul>

## 通所介護事業報告書

### 1. 事業概要

特養併設型通所介護事業所として、要介護・要支援者を対象に通常型のデイサービスで日帰り介護をし、在宅での生活が維持できるよう支援しています。また、介護認定非該当でも市から認められた方の利用(生きがい活動支援通所事業)と、要介護認定申請に至らない方向けの「ふれあい教室」事業をさいたま市から受託し、介護予防事業の一端を行っています。

### 2. 月間利用者数

27年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	657	628	667	694	625	632	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	660	643	676	529	595	616	7,622
28年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	554	602	614	566	546	537	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	518	501	522	449	492	531	6,432

### 3. 介護度別利用者数

(3月末日現在)

要介護度	要支援	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5
27年度	17	22	13	17	2	1
28年度	12	22	11	13	4	1

### 4. 事業所で特別に行ったこと

- 利用者のお誕生日に、お花・写真のプレゼント。
- 新年会、節分、ひな祭り、お花見、夏祭り、クリスマス会などの季節行事。
- 敬老の日前後に、「感謝祭」を開催。他部署の職員にも加わってもらう。
- さつま芋・野菜・花等の園芸活動や、桜・バラ・コスモス観賞のドライブ。
- 各種舞踊やマジック、朗読会などのボランティアをお招き。

### 5. 職員の状況

(3月末日現在)

職名	人数		兼務の状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
相談員 (管理者)	1		○	男	介護支援専門員、社会福祉士
相談員	1			男	介護支援専門員、介護福祉士
介護職	4	1		女	介護福祉士
介護職		2		女	ヘルパー2級
介護職		1		女	

看護師		1		女	正看護師
看護師		1		女	准看護師
運転手		3		男	普通自
合計	6	10			

## 6. 目標に対する自己評価

基本目標 1	利用者の笑顔が増え、在宅での生活に張りができるよう支援します。
重点課題	<p>接遇向上に取り組みます。</p> <p>「遊びリレーション」「選択レクリエーション」を充実します。</p> <p>「季節行事」「園芸活動」を通して生活意欲を高める。</p> <p>介護予防に努めます。</p>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のミーティングにて、サービス向上係を中心に情報の共有ができた。また、接遇向上係を中心に毎月標語を作成し、朝の申し送り時に唱和することで意識向上を図った。</li> <li>・選択レクリエーションでは、買い物ツアーが好評をいただいています。今後も新しい選択肢を提案し、楽しんでもらえるよう企画していきたいと思う。</li> <li>・園芸活動では、恒例の利用者の皆さんが自分達で苗植えをし、収穫をした「さつま芋」が好評をいただきました。</li> </ul> <p>ひかわの青空市でも利用者の皆さんが植えたさつま芋を、地域の皆さんに芋ほり体験にて提供。今年は、指扇保育園の園児達のさつま芋掘りにも提供させていただきました。</p> <p>今後も園芸活動を通して利用者の方達の地域交流の場になれるような企画をしていきたいと思う。</p>
基本目標	広報活動に努めます。
重点課題	<p>毎月「ほほえみだより」を作成する。</p> <p>法人のホームページを活用する。</p> <p>居宅介護支援事業所へ広報する。</p>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、笑顔をテーマに「ほほえみだより」を作成した。</li> <li>利用者・ご家族にも「楽しみにしているよ」との声をいただきました。</li> <li>・法人のホームページのブログの更新が滞っており、うまく活用していきたいと思う。</li> <li>・毎月の実績報告に合わせて「ほほえみだより」を持参し広報した。デイサービスのパンフレットを新しく作成し、居宅支援事業所等に配布予定。</li> </ul>

## 訪問介護事業報告書

### 1. 事業概要

在宅で生活している要介護・要支援者に、入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の支援を行っています。また、要介護認定非該当でも市が必要と認める方への家事の援助(生活援助員の派遣事業)も行いました。

### 2. 月間派遣延時間

27年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	297.0	296.0	275.0	280.5	323.4	277.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	283.8	311.3	279.9	272.9	232.3	227.3	3,356.6
28年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	259.5	248.3	305.4	305.4	273.5	250.5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	250.6	244.2	208.8	210.8	187.8	257.5	3,002.3

### 3. 介護度別利用者数

(3月末日現在)

要介護度	要支援	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5
27年度	20	17	5	4	3	0
28年度	20	17	5	4	2	2

### 4. 事業所で特別に行ったこと

- 利用者のお誕生日にお花のプレゼントを行っています。
- さいたま市からの委託事業で、介護保険要介護認定自立のお年寄りにサービスの提供をしています。

### 5. 職員の状況

(3月末日現在)

職名	人数		兼務の状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
管理者	1		○	女	介護福祉士
サービス提供責任者	2			女	介護福祉士
ヘルパー		1		女	ヘルパー2級
合計	2	1		女	

## 6. 目標に対する自己評価

基本目標 1	職員のスキルアップ
重点課題	隔月のミーティングを通して報告、連絡、相談を行い利用者の在宅環境の変化に気付き安心して在宅生活が行えるようにしていきます。
評価	隔月のミーティングについては機会が持てず、行われていなかった。利用者の変化などの随時報告は受けていた。記録として報告も受けている状態だった。
基本目標 2	サービスの質の向上
重点課題	個別計画書の随時見直しを行い統一したサービス内容で行なっていきます。
評価	計画書につきましては報告、連絡に基づいて変更など行っていったが、統一が十分に出来ていない所も見られた。 今後も報告、連絡を元に注意を促し内容を再確認していけるようにしていく。
基本目標 3	サービスの質の向上
重点課題	自分の役割をきちんと認識し適切に行動が出来る様に努力していきます。
評価	各自の報告を元に適切に行動できるように促していましたが適切に行われていない事もあった事から、再確認を適切に行っていく。

# 在宅介護支援センター事業報告

## 1. 事業概要

在宅で生活しているお年寄りが、日常生活を営むために必要な保健医療サービス又は福祉サービスの適切な利用をすることが出来るよう計画を作成すると共に、市からの事業受託にて独居高齢者等の実態把握や介護サービス啓発のための事業などを行っています。

## 2. 月間利用者延数

27年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	221	213	207	203	202	200	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	203	207	213	209	205	209	2,492
28年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	208	206	214	210	209	210	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	209	217	214	210	205	210	2,522

## 3. 介護度別利用者数

(3月末現在)

要介護度	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
27年度	15	11	60	51	49	16	7	209
28年度	16	11	67	56	38	15	7	210

## 4. 事業所で特別に行ったこと

- 介護者サロン(「薬の飲み方効き方」・「防災」・「湿布の貼り方」) 3回
- 県立大学IP演習参画(10月)
- ケアマネジャー合格者実務研修実習生受け入れ 2名
- 出張無料相談会(公民館、西楽園、湯けむり横丁)8回
- 高齢者サロンへの参加、自治会勉強会出向等で民生委員からの相談受付
- 一人暮らし高齢者世帯見守り訪問(随時)
- 民協への広報活動 2回
- 指扇公民館「扇教室(ウェルネスクラブ)」参画
- ふれあい会食で相談窓口の設置(指扇及び内野地区社協) 10回
- 西区区民まつりへの出展(11月)
- 西区「健幸フェスティバル」参画(10, 11月)
- 認知症サポーター養成講座「劇団にしく」、西区認知症キャラバンメイト連絡会への参加

## 5. 職員の状況

(3月末現在)

職名	人数		兼務 の 状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
センター長 (管理者)	1		○	男	主任介護支援専門員
ケアマネ	1 2 1	1		女 女 男 女	主任介護支援専門員 社会福祉士 介護支援専門員 介護福祉士 介護支援専門員 介護福祉士 介護支援専門員 社会福祉士
合計	5	1			

## 6. 目標に対する自己評価

基本目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員の技能維持、向上に努めます。</li> <li>2. 事業所としてのサービスの質を高めます。</li> <li>3. 福祉機関として地域に貢献し、それを営業活動としても位置づけます。</li> </ol>
重点課題	特に新規利用者依頼促進のための活動について意識化し、市の在宅介護支援センター受託業務と関連させ具体策に取り組む。
評価	<p>利用者数について、昨年度比で 98.6%。サービス付高齢者住宅併設等、西区内で新規居宅介護支援事業所が 4ヶ所増設の中では健闘はした。地域包括支援センターランチ活動の他に会食(内野・指扇)会や高齢者サロンへ毎月参加し、そこからの新規依頼者が来始めた。</p> <p>職員の経験年数が、10年以上 2名、10年目が 2名、他 3年目と 2年目が 1名ずつで、ベテラン 4名には更なる牽引力が必要と感じた。</p>



## 地域包括支援センター事業報告

### 1. 事業概要(実績)

	地域活動	包括的継続的ケア	ネットワーク構築	その他
H28 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下宝来いきいきサロン</li> <li>・いきいきうんどう塾</li> <li>・三京かまぶろ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区ケアマネ会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区キャラバンメイト連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在支出張無料相談会(西楽園)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマイルクラブ(赤羽根)</li> <li>・住友団地自治会</li> <li>・西区民生委員生活援護部会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部圏域ケアマネ情報交換会</li> <li>・西区包括ケアネット推進委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援会議</li> <li>・西区キャラバンメイト連絡会</li> <li>・指扇地区社協総会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・扇の森 WEST 運営推進会議</li> <li>・GH 愛の家運営推進会議</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーベルサロン</li> <li>・内野地区うんどう教室</li> <li>・さわやかサロン(内野公民館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部圏域ケアマネ情報交換会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区高齢課定例会</li> <li>・西区地域包括連絡会</li> <li>・指扇地区社協ネットワーク部会</li> <li>・指扇地区北部ブロック見守り対話集会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在支出張無料相談会(西楽園)</li> <li>・認知症サポーター養成講座(土屋サロン)</li> <li>・劇団にしく(宮前中学校)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五味貝戸自治会</li> <li>・下宝来いきいきサロン</li> <li>・いきいきうんどう塾</li> <li>・にこにこサロン</li> <li>・森と風のサロン(内野本郷)</li> <li>・やよい会サロン(中釘)</li> <li>・赤羽自治会</li> <li>・さわやか体操クラブ(内野本郷)</li> <li>・内野地区会食会</li> <li>・サニーホーム納涼祭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区ケアマネ会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区キャラバンメイト連絡会</li> <li>・包括・在支調整会議</li> <li>・指扇地区社協ネットワーク部会</li> <li>・清河寺・西新井地区見守り対話集会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GH ふるさとの家運営推進会議</li> <li>・GH 愛の家運営推進会議</li> <li>・扇の森 WEST 運営推進会議</li> </ul>
8月			<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区高齢課定例会</li> <li>・西区キャラバンメイト連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GH 愛の家運営推進会議</li> <li>・在支出張無料相談会(西楽園)</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四地区合同敬老会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部圏域ケアマネ情報交換会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援会議</li> <li>・指扇地区地域福祉関係機関連絡会</li> <li>・西区キャラバンメイト連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劇団にしく(土屋中学校)</li> <li>・GH 愛の家運営推進会議</li> <li>・扇の森 WEST 運営推進会議</li> <li>・劇団にしく(指扇地区東部ブロック敬老会)</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三橋6丁目自治会役員会</li> <li>・指扇地区社協会食会</li> <li>・びわの会(琵琶島平)</li> <li>・さわやかサロン(内野公民館)</li> <li>・オーベルサロン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部圏域ケアマネ情報交換会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇地区南部ブロック対話集会</li> <li>・西区キャラバンメイト連絡会</li> <li>・指扇地区中部ブロック対話集会</li> <li>・指扇地区西部ブロック対話集会</li> <li>・西区高齢課定例会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロコモデイサービス運営推進会議</li> <li>・認知症サポーター養成講座(大宮西警察署)</li> <li>・認知症サポーター養成講座(埼玉県警機動隊)</li> <li>・在支出張無料相談会(西楽園)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下宝来いきいきサロン</li> <li>・梅園会</li> <li>・シティハイツ自治会役員会</li> <li>・イキイキ運動塾</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区認知症ケア地域連絡会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・GH みんなの家高木運営推進会議</li> <li>・在支出張無料相談会(指扇病院)</li> <li>・劇団にしく(宅地建物協会介護セミナー)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーヒーサロン(けやき台)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇地区民協</li> <li>・内野地区民協</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健幸フェスティバル</li> <li>・認知症サポーター養成講座</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区老人会婦人部</li> <li>・五味貝戸ゲンキ健康クラブ</li> <li>・のびのびサロン(宮前一丁目)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区高齢課定例会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座(区民向け)</li> <li>・認知症サポーター養成講座(埼玉県警機動隊)</li> <li>・在支出張無料相談会(西楽園)</li> </ul>
H29年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下宝来いきいきサロン</li> <li>・木ノ下婦人部</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇地区社協ネットワーク部会</li> <li>・地域支援会議</li> <li>・西区キャラバンメイト連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーターフォローアップ講座</li> <li>・扇の森 WEST 運営推進会議</li> <li>・GH ふるさとの家運営推進会議</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西新井サロン</li> <li>・五味貝戸長寿会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区包括ケアネット推進委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇地区社協学習会</li> <li>・内野地区社協地域福祉行動計画進行管理連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GH みんなの家高木運営推進会議</li> <li>・在支出張無料相談会(西楽園)</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下宝来運動サロン</li> <li>・にこにこサロン(下郷)</li> <li>・ライオンズガーデン倶楽部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区ケアマネ会議</li> <li>・西区包括ケアネット推進委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援会議</li> <li>・包括・在支調整会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GH ふるさとの家運営推進会議</li> <li>・だんらんの家運営推進会議</li> <li>・在支出張無料相談会(指扇病院)</li> </ul>

## 2. 月間利用者数

27年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	338	343	351	349	349	358	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	362	366	369	372	365	376	4298
28年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	360	369	376	365	376	381	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	374	381	380	378	374	396	4510

## 3. 職員の状況

職名	人数		兼務の状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
管理者・社会福祉士	1		○	男	社会福祉士 介護支援専門員
社会福祉士	2			女、男	
主任支援専門員	3			女	介護支援専門員 介護福祉士
看護師	2			女	看護師 介護支援専門員
地域支援コーディネーター		1		女	
合計	8	1			

#### 4. 目標に対する自己評価

基本目標 1	介護予防の啓発を充実します。
重点課題	①地域活動等にてチェックリストの周知と介護予防の必要性を広める。 ②チェックリストの周知により介護予防の必要な方を把握する。
評価	チェックリストについて、地域活動(出前講座等)にて説明するもチェックリストを行う人は増えなかった。しかし日頃の相談の中で紹介し行い、その後、口コミでその友人も参加したケースがあった。介護予防の必要な方を把握することは、チェックリストを行った方が少なく、把握とまではいかなかった。今後は、総合事業が始まり、窓口でチェックリストを行うことになるが、チラシを使い情報を発信している民生委員にも広報していく。
基本目標	ケアマネの抱えている困難な事例に対し、他職種で共有し支援していく。
重点課題	①ケアマネ会議を通し、三職種で事例に対応していることを広報していく。 ②困難なケースに対しては日時を決め三職種が同席のもと対応する。
評価	ケアマネ会議にて広報したが、個別相談のみで三職種で対応するような困難なケースはなかった。他の困難なケースについては、三職種が同席のもと対応することはなかったが個別支援会議につなげ対応した。今後も引き続き広報していく。